明日へ向かって

第３学年　学年だより
令和６年　３月１３日
第６９号

中学校での“試験”が終わったみなさんへ

『本当の“勉強”とは？』

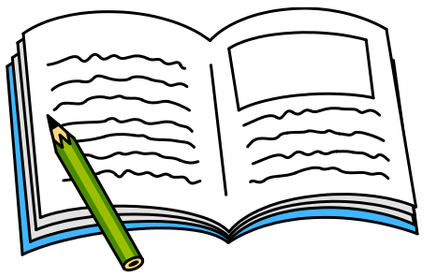
実は、これから自分からいかに勉強するか否かが、人生を分ける大きなポイントかもしれません。

生まれたばかりの赤ちゃんに色々な図形を見せると、より複雑な図形の方をじっと見ると言います。人間は、誕生した瞬間から「もっと知りたい」という“知的好奇心”があり、「学習する」ようにできています。

この知的好奇心は、人間の進化の過程で私たちが獲得してきたものです。私たちは、“本能”より「学習する」ことを重んじ、「考える」ことを通して“生きる力”を手に入れてきました。私たちは、この宝物を大切に育み、上手に活用していきたいものです。

みなさんは、今まで入試やテストにむけた勉強を半ば強(し)いられてきたのですが、大ざっぱに言って「勉強」には、“テスト”のための受け身の勉強と、自ら“知的好奇心”を持って積極的に行う勉強の２種類があります。本当の意味での「勉強」は、自ら興味・関心を持ち、あるテーマを追求していく後者の勉強を指します。そして、本当の勉強は、私たちがその命を全(まっと)うするまでずっと行うものです。みなさんは、中学校卒業後、高校などの上級学校に進学し、さらに大学など上級学校に進学したり、早くも社会に飛び込んでいく人など様々だと思いますが、高校卒業後の人生が人生の本番だと言えるし、みなさんの人生の中でとても大切な時期だと思います。そして、これからいかに勉強するか否かは、みなさんの人生を分ける大きなポイントになっていきます。

これからの高校での勉強は、また中学校と同じような定期試験のための勉強だったり、大学を目指す人は、受験勉強を強いられることになると思います。しかし、本当の「勉強」は、予め学習する範囲が決まっているわけでなく、何に関心を持つかも様々だから、ある現象をどう捉えるかについても明確な正解が存在するわけでもありません。自分が関心を持った事柄を詳しく調べ、仲間と議論し、認識を深めていくことに特徴があります。自分の持った疑問が、一気に氷解することは稀(まれ)で、様々な事実、理論を検討し、考えに考え、上手くいけば一定の結論を得ることができます。大学の本来の勉強は、このようなことをやるはずなのですが、みなさんにも是非、スポーツで身体を鍛えるのと同様に頭脳を鍛える楽しさを味わってほしいと思います。



みなさんが今まで半強制的にやらされてきた（？！）勉強は、間違いなく立派な勉強です。受験や英検・漢検・数検等の資格試験にむけた勉強も大切な勉強です。でも、勉強の究極の目的は、試験に合格することでも、効率的に暗記することでもありません。本来の勉強は、自分自身のために「もっと学びたい」という欲求を基盤とするものだし、自分が死ぬまで終わりのないものなのです。他人に強いられた疑問に答えさせられるだけでなく、自分で自問自答することが重要なのです。人間は、「知的好奇心」や「探求心」を大切にして、最後まで「学習する」生き物なのです。

「生涯学習」といわれるように、みなさんのこれからの人生は一生涯勉強の連続です。二度と戻って来ない文京九中での日々やこれからの高校生活で自分が学ぶ本当の学問の下準備に真剣に取り組む時期にしてはどうでしょうか。学びのチャンスは、周囲のあらゆるところに転がっています。「向上心」を持って、「知的好奇心」を輝かせ、本当の意味での豊かな人生を送ってほしいと思います。

さて、いよいよ卒業式練習の開始です。

卒業式練習に向けて（感動する卒業式 にするには・・・）

- 気持ち　「みなさんが主役です」一番主役として輝くところは、校長先生からの一人一人への卒業証書授与のときです。ですから、主役であるみなさんですが、そのときはステージ上にいるみなさんの仲間の１人が「主役」だから、待っている間、終わった後はじゃまをしないでください。じゃまをするというのは、非常時でないのに隣や前後でしゃべること、イスにだらしなく腰かけて、態度の悪いこと（背筋をのばして座る）、まさかの居眠り、そして、嫌な雰囲気をだしてしまう等のことです。また、あたりまえのことですが、話をしてくれる方に対しては、「感謝」の気持ちで当然、聞くようにしましょう。
- 服　装　できるだけきちんとした“儀式仕様”で臨むようにしましょう。
- 頭　髪　受験のときと同じように意識しましょう（余計なおしゃれはしなくていいです）。
- 態　度　儀式ですので、「凛とした態度」「想いのこもった合唱」を！
  「“答辞”を代表生徒だけでなく、一人一人の生徒が気持ちで」在校生や保護者の方に伝える「感謝」の気持ちを忘れないようにしましょう！
- 担任の先生からの呼名に対する返事→担任の先生や、保護者の方に聞こえる声で、返事に想いをのせる

みなさんが、感動する卒業式をつくる主役です。
感動をもたらすには、ふざけた態度やニヤニヤした顔があってはダメです。
凛とした空気の中に３年間の思いをこめて、一人一人が最後の学校行事に一生懸命取り組んで、
初めて人は感動を覚えます。
それには一人も欠けずに出席している全員が輝けるように気を遣い、支えること。
一生に一度の中学校の卒業式を感動するものにつくるのは君たち主役の卒業生なのです。
“赤学年”としての最後の姿を期待しています。
そして、久々の完全な形での卒業式、新たなこの文京九中の伝統をつくってください。

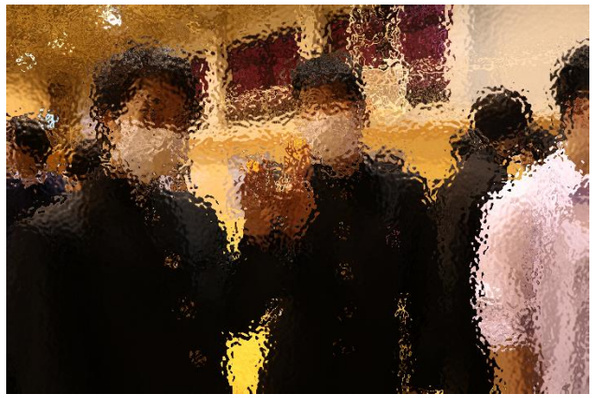
学びウィーク（？）

７日（木）には、定泉寺の副住職・武智弘英さんにお越しいただき、いのちと心の授業を実施しました。元服についてのお話や薬物乱用防止に関するお話などをしていただきました。中学校卒業後の今後の生活に活かしましょう。

８日（金）の校外学習ではお台場に行きました。朝は天候が悪かったのですが、徐々に回復し、晴れ間も見られました。各班で商業施設を巡ったり、公園で鬼ごっこをしたり、バーベキューをしたりと、思い思いの行動をしました。卒業前に良い思い出になったことでしょう。

１１日（月）は「生涯学習講座」ということで、中学校の教科の学習にとらわれない幅広い分野に関しての学習の時間としました。まず、１・２時間目は織田学園中野高等専修学校の先生方にお越しいただき、食文化についての講話や飾り切りの実演・１０人ずつの体験会をしていただきました。武道場では講話、体育館では実演・体験と２カ所に分かれて実施しました。９月の出前授業に引き続き来ていただきましたが、前回よりも盛りだくさんの内容でした。ニンジンをきれいに切ることのできている人が多かったです。

３・４時間目には転職経験のある方々による職業講話を実施しました。現在の職業とのギャップや、学生時代の経験など興味深いお話に驚きを隠せませんでした。ラップ、医療機器、メダカに関する職業についてのお話、職業選択や今後の進路選択に向けての有意義なお話もたくさんあり、学びを深めることができました。



モノグサ株式会社　水野様

株式会社日の出　浅沼様

Edv Future 株式会社の皆様